以下、実装のサンプルアプリケーションについて。

Googleによる認証サンプル

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-google.sql>

Facebookによる認証サンプル

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-facebook.sql>

LinkedInによる認証サンプル

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-linkedin.sql>

LINEによる認証サンプル

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-line.sql>

Yahoo! Japanによる認証サンプル

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-yahooj.sql>

それぞれ、アプリケーションをインポートすると、そのアプリケーションで使用しているWeb資格証明も作成されます。それぞれ、”Google (Demo)”, “Facebook (Demo)”, “LinkedIn (Demo)”, “LINE (Demo)”, “Yahoo Japan (Demo)”です。Web資格証明の入れ物は作られますが、”クライアントIDまたはユーザー名”および”クライアント・シークレットまたはパスワード”は空の状態ですので、それらは設定が必要です。

上記全てのアプリケーションがインストールされていると、認証を切り替えてログインするサンプルを動かすことができます。

<https://raw.githubusercontent.com/ujnak/apexapps/master/exports/apex-auth-switch.sql>

こちらはEMP / DEPTのサンプル・データ・セットを使用します。

SQLワークショップ>ユーティリティ>サンプル・データセット

へ移って、EMP / DEPT をインストールしてください。